

あひみず

学校便り
7月号

学校の教育目標

自ら考え、進んで行動する心豊かな児童の育成

合い言葉 元気 根気 みんな好き あいさつ 感謝



保護者の皆様・地域の皆様へ

今年の梅雨は、近年にない雨量を記録し、学校の花壇の花も例年に比べるとかなり影響を受けてしまいました。

そんな中でも、子どもたちは元気いっぱい、誰一人として交通事故や事件に巻き込まれることもなく、全員そろって1学期を終え、楽しい夏休みに突入しました。これも保護者の皆様・地域の皆様の見守り活動や温かい言葉かけのお陰であると感謝しております。

今年の夏休みは、7月21日から8月28日までの39日間です。この長い休みの大半を子どもたちは家庭や地域で過ごすこととなります。活動範囲も広がるでしょうし、気分も解放され、普段では考えられない行動をすることも心配されます。どうぞ、保護者の皆様・地域の皆様におかれましては、子どもたちに引き続き、目をかけ、声をかけていただければ有難く存じます。ちなみに、子どもたちの外での活動時間は午前10時から午後6時までとなっております。それ以外の時間帯で子どもを見かけたときには、一声かけていただきますよう重ねてお願いいたします。

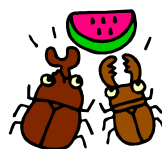


能（子どもの文化芸術体験事業）



こちらでは、めったに見ることのできない「能」の公演を鑑賞しました。「舍利（しゃり）」という有名な演目で、「舍利」という言葉の意味や、「韋駄天（いだてん）」「足疾鬼（そくしっき）」などの登場人物のやりとりなど、子どもにとっては初めてのことでありましたが、真剣なまなざしで鑑賞していました。子どもたちは鑑賞するだけでなく、

3組に分かれて、舞（まい）と謡（うた）を担当し、実際に能を演じるという体験もできました。



国際理解講座（韓国）



6月27日（水）韓国からこられた国際交流員さんが学校を訪れ、国際理解講座を開いてくださいました。

韓国と日本を比較しながら韓国の文化や生活習慣の話子どもたちは真剣な眼差しで聞いていました。特に、いま流行している韓流スターなどが紹介されると、「知ってる。知ってる。」と大騒ぎで、自分たちの身近なところで韓国の方が頑張っているのを実感した様子でした。2学期に2回目の講座が計画されていますが、今回は韓国の民族衣装など、さらに踏み込んだ異文化理解になることでしょう。

民生委員児童委員協議会との協議

7月6日（金）、いつも学校や地域の福祉のためにご苦労いただいています民生



委員児童委員の方々と有水小・中学校の協議会が本校でありました。小・中学校の現況を説明し、今後の民生委員児童委員さん方の活動に少しでもお役に立てればということで協議をさせていただきました。地域の見守り活動の様子や危険箇所など様々な情報をいただき、学校としてもとても有意義な会になりました。

空きびん回収ありがとうございます。

先月の学校便りで、これまでの地域を回っての空きびん回収の方法をやめ、学校のリサイクル小屋で空きびんや空き缶、新聞紙や古紙類などを常時回収するという方法に変更することをお知らせしましたところ、さっそくご協力をいただきました。ありがとうございます。益金は、PTAや子どもたちの活動に有効に使わせていただきます。今後ともご協力をお願いいたします。

